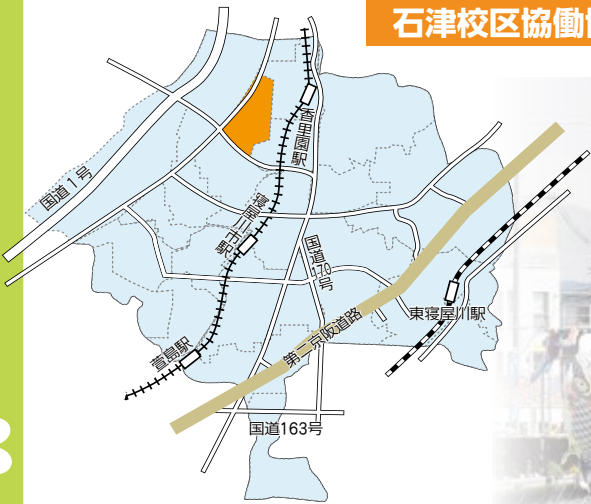


石津校区協働協議会



地域の企業も参加!
マスコミにも取り上げられる春の風物詩!



小学校区ごとに一つある地域協働協議会では、住民同士や団体が協力・連携し、話し合いながら、行事や防災、福祉、緑化など地域の特色を生かした取り組みが行われています。地域協働協議会の取り組みなどをシリーズで紹介します。

図 市民活動振興室

水路を泳ぐ「こいのぼり」

使われなくなり家庭に眠る「こいのぼり」を活用できないかと始まった取り組みも今年で5回目。年々こいのぼりも増え、800メートルに渡って悠々と泳いでいます。

こいのぼりと「協働の畑」のまち



みんなで収穫、
食育もしています!



協働の畑

協議会が管理している畑で、地域の小学生が水やりや野菜の収穫を体験。きゅうりやナス約150本を収穫し、給食の献立として提供しています。

石津地域は、淀川支流の船着き場として栄えた「石津村」が由来で、今も石津導水路が流れています。

石津校区協働協議会では、約180人の会員が活動しており、この春からは管理する畑も増えたため「農園部」も始動しました。今は世代間交流や若者の参加に力を入れています。一人でも多くの人に参加してもらいたいと考えています。



石津校区協働協議会
会長 村川 彰男さん

こんなことも取り組んでいます



800人が参加する盆踊り大会



学習支援教室で学力向上!



元気アップ体操も頑張ってます!